

北陸 経済研究

7

July
2026 no.544
ISSN 0386-8583

トップインタビュー
株式会社 能作
代表取締役会長 **能作 克治**氏 代表取締役社長 **能作 千春**氏

自主調査 | **就職氷河期世代が抱える課題と人材活用**

コンサルティング
通信 | **第9回 経営コンサルティング編③
DXを“導入”で終わらせない経営
～3つの“D”と企業風土・TQMで「定着して成果」を得る～**

企業紹介 | **株式会社 白山**

【加賀友禅】「波打ち際」
海に洲の突き出た浜辺を表す伝統的な「洲浜紋」
に、モダンな水玉模様を重ね、波打ち際の情景
を思わせる爽やかな意匠の訪問着。



加賀友禅の魅力をもっと身近なスタイルで発信

か が ゆうぜん よしもと だいすけ
加賀友禅 × 吉本 大輔 [石川県金沢市]

独自の加賀友禅を追求して注目を集めている吉本大輔さん。母が「こぞ」という場面で華やかな着物をまとっていた姿が印象的だったことから、着物を「特別な場面を彩る装い」として大切にしたいという想いを抱くようになったそうです。気軽に着られる装いが選ばれがちな現代においても、フォーマルならではの価値を感じてほしいと、伝統的な加賀友禅の様式にとらわれず、モダンなデザインも採り入れながら制作しています。着物の需要が減少する中、その魅力を知ってもらうため、加賀友禅の技法的特徴である「糊置き(糊で輪郭線を描く工程)」の白色を活かしたポップなデザインを考案し、小物づくりにも挑戦。自身の手描き図案を各種素材に高精彩でプリントすることで、傘や文具といった日常使いできるアイテムを展開しています。



●色無地「宝船」

地紋として配された「青海波」の“波”から連想した「宝船」を、吉本さんが裾の裏の部分に手描きした贅沢な仕立て。



●染名古屋帯「菊唐草」(左)と「牡丹唐草」(右) 織柄のような繊細な文様を手描きで表現した、幅広い場面で活躍する帯。



●友禅柄晴雨兼用傘「兼六園鶴亀」 金沢を象徴するモチーフが描かれる傘の一つ。雪吊りをはじめとした兼六園の見どころが凝縮。



●ごミユ印帖

吉本さんのデザインが施された、金沢に17ある小さな美術館(文化施設)限定の“御朱印帳”ならぬ“ごミユ印帖”(スタンプ収集帳)。



「色挿し」の工程。糊で描いた輪郭の内側に、繊細な筆づかいで色を重ねていく。

石川県金沢市窪3-480

TEL: 076-256-2738

Mail: daisuke.yoshimo@gmail.com



吉本 大輔

略歴

1977年 石川県金沢市生まれ
2000年 金沢美術工芸大学 工芸科 染色専攻 卒業
2008年 加賀染振興協会 手描き技術者落款登録
2017年 経済産業大臣指定伝統的工芸品
加賀友禅伝統工芸士に認定
2019～2024年 金沢卯辰山工芸工房 染工房専門員
2016年～現在 金沢美術工芸大学 非常勤講師

受賞歴

2003年 第25回伝統加賀友禅工芸展 金賞
(石川県立美術館収蔵)
2018年 第40回伝統加賀友禅工芸展 銅賞
2020年 第42回伝統加賀友禅工芸展 銅賞
2021年 第43回伝統加賀友禅工芸展
美しいキモノ編集長賞 糊置き技能賞
2024年 第46回伝統加賀友禅工芸展 銀賞
2025年 第47回伝統加賀友禅工芸展 金賞
美しいキモノ特別賞 糊置き技能賞

Instagramは
こちらから